

1, オープンファクトリーに参加しました！

【大正・港・西淀川オープンファクトリー2025】

大阪は、かつて「東洋のマンチェスター」と呼ばれ、紡績産業を中心としてまちが発展してきました。また、日本屈指の近代港を擁することで重工業も大きく発展し、“ものづくりのまち”として全国にその名をはせました。その中でも、大正区と港区、そして西淀川区には、今もなお、その技術力と伝統が息づいています。

大正・港・西淀川オープンファクトリーは普段は見ることのできない匠の技、そして、現代に受け継がれたものづくりのDNAを体感できるイベントとして開催されています。

当社は2025年12月5日（金）に参加し、地域の皆様に当社関西工場をご見学いただきました。



【サステナブル目標の1つとして】

当社のサステナブル目標の1つとして「地域に根差した社会貢献活動の推進」の中で工場見学の実施を掲げております。

4. 質の高い教育をみんなに

→ものづくり、技術について学ぶ機会にさせていただくことができる。

8. 働きがいも経済成長も

→地域産業への理解を深め、人材育成や将来の雇用創出へとつなぐ。

9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

→製造業の技術力を発信（可視化）。

11. 住み続けられるまちづくりを

→地域の共生。地域に開かれた工場として信頼関係を構築。



【参加された皆様のご感想は？】

ご参加いただいた皆様にアンケートにお答えいただきましたが、会場へのご案内、会社説明、工場御案内の全てで「満足」というお答えを頂戴致しました。

「鏡板が世の中の色々な部分に使われていて、区民として誇らしい。」といった有り難いお言葉を多くいただきました。

これからも工場見学を通じて、地域に開かれた会社として活動していきます。